

ボランティア活動について

ロータリークラブとの清掃活動

歯学部 北崎 航 (西武学園文理高等学校 出身)



私はこれまで、今回のようなボランティア活動や清掃活動に参加した経験はなく、ロータリークラブとの清掃活動はとても良い経験となるものでした。まず、今回主に清掃活動を行ったのは、富士山の富士吉田口の登山道であり、清掃活動を行うと同時に富士吉田の動植物を間近に観察し、富士山麓の自然を満喫できたことです。そして、ロータリークラブの方のお話を拝聴することにより、さらに富士吉田の自然への関心が高まりました。次に、清掃活動そのものを行うことで、地域社会に貢献できたことが挙げられます。現在は世界文化遺産となった富士山も、登録前には不法投棄が問題となっていました。富士山麓の環境美化につながるこの活動をロータリークラブの方と共にできたことは、大変収穫の多い経験となりました。このような地域との交流を深めることで、より良い地域社会を創造することができると思います。今後このような活動に、積極的に参加していきたいと感じました。



第38回 昭和大学公開講座 「暮らしと健康」 富士吉田教育部 萩原 康夫

五月晴れの5月21日、富士吉田市民会館小ホールにて第38回昭和大学公開講座が開催されました。「暮らしと健康」をメインテーマにした本講座では、今回「老化」という現象をいろいろな観点でみようとする富士吉田教育部の教員3名が講演しました。

まず、最初の講演は昭和大学富士吉田教育部の教授であり富士吉田キャンパスの校医でもある田中一正先生が「健康と老化」という演題で、老年期を元気に健康に過ごすことの大切さなどをユーモアと元気いっぴいの声で講演しました。多くの聴講者が田中ワールドに引き込まれた様子がアンケート結果からもうかがえました。次の講演は健康スポーツ科学の教授である堀川浩之先生が「老化と運動」という演題で、老年期を元気に過ごすための運動の重要性や年齢に応じた運動量などについて身近な例をあげながら講演しました。アンケートにも自分の身体を触りながら説明を受けたことでとてもわかりやすかったと回答がありました。最後の講演は生物学の講師である私(萩原)が「生物にとって老化とは?」という演題で、長寿生物や老化しない生物などを紹介しながら、「老人」という存在が人間の社会や文化形成に重要であることを講演しました。「へえ!と思う事ばかりでおもしろかった」と楽しんでいただけた様子がアンケートからうかがえました。

追記になりますが、今回の講座では20名ほどのボランティア学生達が参加し、受付や案内などをさわやかな笑顔で手伝ってくれました。アンケートにも「学生さんの活動がとても良い感じ」と書かれていたのが印象的でした。



富士吉田寮50年目連載企画 2000年代

昭和大学 薬学部 臨床薬学講座 天然医薬治療学部門 助教 小池 佑果



富士吉田の寮生活は私にとって驚きの連続でした。はじめに驚いたのは入学式終了後、早々にバスに乗り込み、連れて行かれたのは雪がまだ残る山の中だったことです。千葉に住んでいる私にとって、4月に雪が残っている事実が仰天した吉田生活の始まりでした。

次に驚いたのは、ユニークな先生方の講義です。有機化学の反応を黒板で説明するだけでは分かりづらからと、物質のかさ高さや反応後の立体についてご自分の傘を広げ教えてくださった講義はすんなりと頭に入りました。私も学生に反応を聞かれたときに使わせていただいています。また、いつも講義の始まりにお誕生

日の学生を探し、その月のお花や薬草で作ったお手製ジャムをプレゼントして下さる先生がいらっしゃいました。友人が貰ったジャムを少しもらい、パンに塗って食べたその味はその薬草を見るときいつも思い出します。ほかにもお説教で講義時間の半分を使ってしまう先生など、大学の先生方はキャラクターが濃い方ばかりで衝撃的でした。

そして何よりも驚いたのは12月の大雪です。校庭にあった水道の蛇口が埋もれる程の高さまで積もった雪は、友人に投げ飛ばされても痛くない程ふかふかでした。雪合戦やダンボールをそりにして遊び、学部の違いなど全く気にせず無邪気に遊んだことを思い出します。当時一緒に遊んでいた友人は他学部で教員となり学内で時々会うのですが、吉田で遊んでいた頃の顔が見えると嬉しいものです。

新体育館計画の概要



1. アリーナ規模について

- 現状体育館に準ずる大きさを確保 (32.6m×26.0m > 既存 32.6m×20m)
- バスケットコート1面・バレーコート2面・バドミントンコート4面を確保
- 立食パーティ時700人収容可
- シアター形式(椅子のみ)時850人収容可
- 講義形式(椅子・机)時600人収容可

2. 富士山噴火に対する対応について

- ①富士山噴火のハザードマップより
 - 富士吉田市のハザードマップによると、当該敷地は、火口ができる可能性がある地域から10km弱のところであり、噴石がたくさん落ちる範囲からははずれていますが「まれに10cm未満の小石などが飛ばされる可能性がある」とあります。

②噴石、降灰への対応

- 上記に対して、屋根はダブル折板(表裏に2重に鋼板0.8mmを貼り、間にグラスウール断熱材をサンドイッチした材料)、外壁はコンクリートとし、小石程度の噴石に耐えうる仕様としています。またアリーナ上部の屋根勾配は3.5寸勾配とし降灰の積もることを極力防ぎ、その他の平らな屋根の部分は鉄筋コンクリート造で40cm程度の降灰の荷重を支えることが可能のように設計しています。窓は強化ガラスを採用し、極力破損を防御する仕様としています。

3. 建築概要

- 建築面積1447.37㎡
- 延床面積1838.00㎡
- 地上2階建、鉄筋コンクリート造

4. 舞台設備概要

- 行事、講演、演劇での利用を考慮し奥行5.3m×幅14.5m程度のステージを確保
- 高輝度高精細プロジェクタ(12000lm WUXGA(※第2講堂のものと同じ照度です))1台
- 300インチ映写可
- 映像設備は、HDMIやブルーレイディスクといったデジタル映像に対応可
- マイク(ワイヤレスマイク4同時利用可能及び有線マイクは上手・下手・中央の床パネル各1ヶ所及び下手袖面に8個口マイクコンセントあり)無線・有線合わせて最大15本まで使用可
- 下手袖面に持込音楽機器に対応可能な8個口の接続口を用意。

富士吉田校舎 事務長 久米 徳明

白樺百合

昭和大学
富士吉田キャンパスだより
第28号 2016.7.20 発行

発行責任者 富士吉田教育部長 小出良平
編集責任者 富士吉田教育部広報委員長 倉田知光
〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田 4562
TEL0555-22-4403



保健医療学部看護学科 岡本 愛奈 (川和高等学校出身) 撮影

ご挨拶

富士吉田校舎 事務長 久米 徳明

富士吉田校舎への入寮から2か月以上が経過し、学生生活・寮生活にも慣れてきたことと思いますが、この原稿を執筆している今現在、全学生に対する19時以降の学外外出禁止の通知を準備しているところです。このことの原因は「慣れ」から生じる気の緩みなのでしょうか?

昨年の学生諸子にもお願いしましたが、まず「自分の身は自分で守る」ことをお願いします。教員・寮監をはじめ、職員も目の届く範囲では手を差し伸べることが可能ですが、最終的には各自の自覚に頼ることとなります。「後悔先に立たず」ということばがありますが、何人もの学生が事故や処分のもとに反省し後悔している姿を見ましたが、皆さんにはそんな思いをしてほしくありません。昨年は交通事故が2件発生したために、横断歩道を渡るように指導を強化したのもその一例です。是非楽しい思い出を持って退寮し、2年生に進級していただきたいと心から祈っています。

話は変わりますが、第4面記事にて体育館の概要を紹介いたします。10月の末には竣工の予定ですので、1年生の皆さんが初めて寮祭でステージに立つこととなります。どのようなステージを披露してくれるのか楽しみにしていますので、新しい体育館をフルに活用して下さい。

広報誌名称について

全寮制を特徴とする富士吉田校舎学生寮は「白樺寮(男子寮)」「百合寮(女子寮)」の二寮からスタートしました。「赤松寮」「すみれ寮」を加えて四寮となった現在も、白樺・百合という名称は受け継がれています。この名を冠した「白樺・百合」という広報誌の名称には、過去・現在・未来の学生たちが日ごとに成長をとけて前進しつつも、常に初心を忘れず、伝統を受け継いでくれることへの願いが込められています。

大学では学生の国際交流を推進するため、海外実習・研修補助制度を設けて積極的に支援しています。

入学式・入寮風景(オリエンテーション)

富士吉田教育部 前田 昌子

4月12日、暖かな日差しのもと、明治神宮会館にて入学式が執り行われました。管弦楽団の演奏のあと、厳かに式は進行了。式の後には歓迎のセレモニーとして、アカペラ部、MAS(ジャズオーケストラ)の演奏、応援指導部の演舞が新入生を歓迎しました。入学式後、新入生はバスに分乗し富士吉田校舎へ向かいました。夕方からは指導担任との挨拶、コンパメンバーとの顔合わせ、簡単な寮生活の説明があり、夕食後は点呼まで各自の部屋でくつろぎ、初めての点呼に戸惑いながら1日目の夜を過ごしました。

翌日は入寮式、Identity教育、内田樹理事の講演と続き、昼休み前には学部ごとに記念撮影も行われました。午後からは学部に分かれ、学部identity教育、学部全員の一言自己紹介が行われました。

3、4日目は生活ガイド、続くスタンプラリーでは芝生を植えるタスクも行いながら寮内の施設を見て回り、自己紹介ワークでは体を動かしながらコンパメンバーの個性が光る自己紹介がされていました。夕方には代議員、教育委員が選出されました。

週末の新入生歓迎会、ウェルカムパーティーでは恒例の打ち上げ花火が上がり、翌週はコンピュータ講習、心肺蘇生法・AED講習が行なわれ、オリエンテーション期間が終了しました。

(注)コンパ:昭和大学では指導担任制度をしいており、各教員が1グループ16~24名の学生の担任となつてきめ細かい指導を行っています。このグループの通称が「コンパ」です。



記念植樹

医学部二年 山内 彰人
(昭和学院秀英高等学校 出身)

去る4月16日に富士吉田キャンパスにて記念植樹が行われました。記念植樹は毎年行われており、この行事には新旧中央委員が参加しております。富士吉田キャンパスの

桜の景色の一部は日々行ってきた植樹によるものだと知り、自分たちで植えた木が、何年後かに立派に育つことを考えると、非常に感慨深いものがありました。

この記念植樹は、中央委員の引き継ぎも兼ねており、中央委員長、寮長、代議員に選ばれた後輩たちと顔合わせをすることができました。中央委員にも毎年各学年のカラーがありますが、今年の後輩たちは私たちの代よりもしっかりしているように感じたので、とても頼もしく思います。私たちも昨年、入学したばかりの頃にこの記念植樹に参加し、中央委員の先輩方から中央委員の役割と富士吉田の生活についてのお話をお聞きし、中央委員としての第一歩を踏み出せました。今年はアドバイスをする側として現中央委員の方々の一助になることができているらば光栄です。こうした縦の繋がりを築いていく行事を大事にしていきたいと思いました。

最高の体育祭

体育祭実行委員長 薬学部 松本 岳 (磐城高等学校 出身)

6月4日(土)に体育祭が実施されました。実行委員36名とともに学生全員が楽しめる体育祭を行うためにはどうすればいいか、2週間という短い時間の中で企画してきました。当日は、玉入れ・綱引き・借り物競争・長縄・紅白リレーそして後夜祭を行いました。実行委員長として約600人の学生をまとめることはとても難しく、大変なことだということを実感しました。しかし、みんなの一生懸命にプレーする姿やそれを大声で応援している姿、楽しそうに笑っている姿を見て、非常に感慨深いものがありました。当日まで内緒にしていた花火も無事に打ち上がりホッとしました。体育祭終了後に友達だけでなく、今まで知らなかった人からも「めっちゃめちゃ楽しかった!」「花火感動した!」「もう一回やりたい!」などの言葉をかけてもらい、苦しいなか頑張った良かったなと心から思えました。

みんなの協力がなければ、こんなに楽しく盛り上がる体育祭を作り上げることは間違いなくできませんでした。これから先何年も、あの時の体育祭楽しかったなと友達と言い合えるような思い出になることを願っています。最後に体育祭実行委員長として一言、「みんなのおかげで最高の体育祭にすることができました。本当にありがとう。」



新入生歓迎会、ウェルカムパーティーについて

医学部 黒澤 遙平 (水戸第一高等学校 出身)

入寮して間もない4月16日の土曜日にウェルカムパーティーが行われました。新入生約600人と、旗の台キャンパスからお越しくださった先輩方と富士吉田キャンパスの体育館はいっぱいになりました。体育館のあちこちから、始まる前にもかかわらず先輩方と楽しげに話す新入生たちの声が聞こえてきました。私たち新入生は入学直後から自己紹介ワークや各コンパでの活動を通して、同学年の仲間と「横」のつながりを築いていました。今回のウェルカムパーティーを通して私たちは新たに「縦」のつながりを築くことができました。

新入生はみな同じコンパの仲間と話すとともに、先輩方と部活動や勉強、はては恋愛のことまで様々なことを話していました。私自身も、昨年の富士吉田校舎で中央委員長を務めていらした先輩から貴重なお話をうかがいました。おいしい食事の周りで気さくに話しかけてくださる先輩方と過ごす時間は、あっという間に感じました。



オープンキャンパス

模擬店部門代表 薬学部 中村 真奈美 (川越女子高等学校 出身)

天候が心配されたなか、オープンキャンパスの幕が開きました。今年は体育祭と寮祭とが分離されたということもあり、運営形態が最終決定され、私が模擬店部門代表になったときはすでにオープンキャンパスまで一週間しかありませんでした。かつてないほど限られた時間のなかでの準備は多忙を極めました。11月に行われる寮祭へ向けて良い経験を積めたと思っています。

前日の体育祭終了後からコンパごとに調理練習が始まり、その中で模擬店に参加していない学生もあちこち巡って試食をして楽しんでいました。今回は抽選で10コンパが模擬店を出店し、みたらし団子、ワッフル、クレープ、タピオカ、ドーナツ...など十種類が各コンパのテントの下に並びました。当日は予報通り雨で、気温が低かったために冷たい飲み物類は売れ行きが心配されましたが、オープンキャンパス後半には太陽が顔を出し、気温も上昇したためか全団体が完売に終わると大変嬉しい結果となりました。遠路はるばる富士吉田までいらした参加者の方々だけでなく、前日に引き続き学生たちも模擬店に足を運び、模擬店付近は悪天候にもかかわらずとてもにぎわっていました。富士吉田の学生たちの活気が参加者の方々にも伝わったのではないかと思います。

そして、今回のオープンキャンパスの模擬店による売上金は学生からの提案により、「平成28年熊本震災」の被災者の方々への義援金として寄付することとなりました。



代議員会・学祖祭

医学部代議員 大友 隆之 (慶應義塾高等学校 出身)

2016年5月29日、旗の台にて中央委員長・各寮長・副寮長・各学部代議員と2年から6年生の各学部代議員が集まる定例代議員会が開催されました。代議員会とは、旗の台キャンパスにて行われる行事のひとつで、主な内容は昨年度の学生会予算報告や今年度予算の配分を決めることです。来年度から自分たちが主体となって行うことを直接、先輩方から学ぶことができました。

その後、昭和大学の創設者である上條秀介先生を偲ぶ「学祖祭」として、講演会や立食パーティーなどが行われました。細山田名誉学長による講演会では昭和大学の成り立ちから大学の歴史を知り、小口理事長の講演では、今後の事業計画について普段はあまり聞く機会のない、ためになる話をうかがうことができました。

最後に、懇親会に参加させていただき、代議員の先輩方や旗の台の先生方のお話を伺うことができ、いろいろなご意見を頂ける貴重な体験でした。

一年時からこのような、とても今後のためになる貴重な体験ができ、成長を感じられる良い機会となりました。

